

わが社のウェルビーイング

DXを活用した働き方改革で 作業効率や社員満足度、 採用活動の大幅改善に成功

会員企業が重視するテーマについて、
キーパーソンにインタビューするこのコーナー。
第3回は、社会や企業の課題解決に寄与するIoTソリューションを提供する
YEデジタル様に、ウェルビーイング経営による働き方改革、
さらに人材採用・育成法について伺いました。

社員が幸福な会社を目指して 業界を越え他分野にも進出

——もともと、ITシステム開発を請け負っていたそうですが、まずは御社の事業内容をお聞かせください。

遠藤 弊社は、1978年に安川電機から分離独立して以来、製造業に特化したシステム開発を請け負ってきました。しかし製造業だけに偏ってはいは想定している以上の成長は描けず、社員への還元も難しいと考えました。そこで高付加価値化に向け自社製品の開発、元請への移行を進める一方で、5年ほど前から、他分野にも進出し、DX支援を開始しました。

例えば農業分野では、タンク内の燃料、飼料の残量を自動検出するシステムを開発。交通分野では、バス停を電子化し、離れた場所からでもリアルタイムでダイヤを変更できるスマートバス停を開発しました。

——2020年の本社移転を機に、働き方改革に着手されました。どのような意図があったのでしょうか。

遠藤 高い報酬を受け取るだけでなく、良い仕事をしたいという気持ちは皆様が持っていると思います。良い仕事とは何かというと、誰かに与えられた仕事ではなく、自分たちが作った商品・サービスで社会に貢献すること。そしてその商品・サービスを開発するのは、社員です。そのため「ウェルビーイング=社員が

幸福な会社]であることが重要だと考えました。

——具体的には、どのような改革でしょうか。

遠藤 まず、社員が出社しやすい会社にするために、快適性、機能性、多様性を重視した職場環境を作りました。本物の観葉植物を随所に配置し、冷蔵庫、電子レンジや自動販売機は景観を損なわないデザイン性の高いものを選びました。さらに、オールジェンダートイレを設置し、車椅子の社員などにも配慮した導線設計も取り入れました。

鶴留 特に女性の場合、やりがいや業務内容はもちろん、職場環境や福利厚生といった現実的な面を重視して、就職活動をする傾向があります。正直なと



九州支部

株式会社YEデジタル

代表取締役会長 遠藤 直人 氏

管理本部 人事総務部 鶴留 麻由 氏

働き方改革が評価され、「エコノミスト未来賞2023」のウェルビーイング部門などを受賞



また全体の80%が、現在の仕事や役割に満足しているという、GAFACラスの満足度が得られました。

鶴留 経営陣と現場のコミュニケーションツールも効果的で、経営方針や方向性、どんな事業が伸びているかを会長、社長に直接語っていただくと、やはり仕事のモチベーションは上がります。

——社員に大きな権限を与えるプロダクトオーナー制度があると聞きました。これも働きがいや満足度に影響しているのではないのでしょうか。

遠藤 社員のやる気にどうやって火をつけてあげられるかが、これからの人材育成のポイントです。大切なのは、否定から始めず、とにかくやらせてみること。まずは社長権限のうち1億円までは本部長に移譲することで、経営の意思決定のスピードアップを図りました。それと並行して導入したプロダクトオーナー制度は、

ころ、私が入社した頃の職場環境は、決して明るいとは言えず(笑)。しかし今では、インターンシップでオフィスを見学した学生から、「社内が明るく、また社員の働いている姿も輝いて見えて一緒に働いてみたいと思った」という前向きな意見が寄せられるようになりました。

遠藤 また、すべての社員が年齢を問わず各々のライフステージに合わせて、場所と時間の制約を超えた働き方ができる「ユニバーサル・ワークスタイル」を取り入れました。それを可能にするために、一定のセキュリティルートを通れば、いつでもどこでも、どんなデバイスからでも会社のデータにアクセスできる環境を構築しました。さらに、クラウドシステムを活用して仕事の効率化にも注力。以前は、受注後に案件を社内共有していましたが、データのリアルタイム性が向上したことで、より早い段階から共有確認することが可能になりました。そうすることで、関連部署は早い段階から作業に備えることができます。

労働生産性が格段に向上し、社員の満足度に直結

——働き方改革を推進していったことで、どのような成果が現れましたか？

遠藤 労働生産性の推移が2018年から右肩上がり、約2年で20%以上改善しました。これは、今まで12カ月かかっていた仕事が、10カ月でできるようになったことを意味します。生まれた時間を戦略的な検討や社員教育などに活用しています。結果的に、2020年度の1人あたりの時間外労働は、2019年度の15.3時間から11.1時間に削減。前年比29%削減を達成しました。

——社員の意識にも変化が見られたということですね。

遠藤 2021年6月に実施した従業員満足度アンケートでは、全体の78%が働きがいを感じていると回答し、そのうち12%が強く感じていると回答しています。



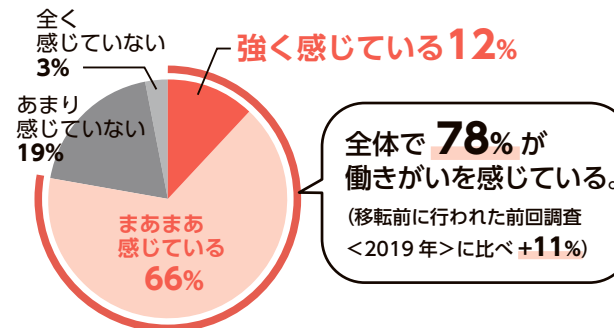
ショールームに展示されているスマートバス停



緑溢れるワークスペース

Q. 当社での働きがいを感じていますか？

(本社移転1年後、2021年6月実施)



ある調査によると、働きがいを感じられない数パーセントのボトムアップを図るよりも、「やる気に溢れる」社員を増やしたほうが、生産性はあがる。また「やる気に溢れる」社員の多い職場は周囲の人も感化されることが期待されるそうです。

やる気に溢れる社員 12% ▶ 20% に!
(働きがいを感じている) ※日本の平均は6%

💡 当社ではこの点に着目し社員教育を進めています。💡

経営陣を納得させられれば、ヒト・モノ・カネといった必要なリソースを自らの権限で動かすことができます。ここから生まれたのが、先程もお伝えした飼料残量管理やスマートバス停です。プロジェクトが成功すると、その社員は自分たちの製品をより理論的に説明できるようになるなど、見違えるほど成長します。

5年後の成長を見据え、 個々の能力に合わせて育成

——近年は就活生のエントリー数が大幅に増え、女性の割合も増えているそうですね。

鶴留 2022年度の採用は、29名のうち22名が女性でした。その要因のひとつに、事業の範囲が製造系からソーシャルIoTに変わったことが考えられます。説明会で、バス停や畜産といった文系の女子学生にも興味を持ちやすい話ができるようになり、入り口から変わりました。また、女性限定の説明会も実を結びました。一例として本社6階のコワークスペースに、スイーツバイキングのケータリングを準備して参加し

やすい雰囲気作りも心掛けました。さらに女性社員に協力してもらって座談会スタイルで行ったところ、参加した8割以上が選考に進んでくれました。

——社員育成など、採用後の施策をお聞かせください。

遠藤 一人ひとりのスキルやキャリアプランに合わせてカスタマイズし、育成プランを作成しています。全員同じでは、文系出身よりも即戦力の理系出身のほうが有利ですから。結果として2020年以降、新入社員の離職者は1人もいません。我々が欲しいのは現時点での社員ではなく、3年後、5年後に成長した社員。3年間のカリキュラムが終わった頃には、文系出身、理系出身に関係なく成長を見せてくれています。

鶴留 悩みや不満を抱く新入社員がいたら、人事担当である私がしっかり耳を傾けて本音で話すようにしています。弊社の福利厚生を含めた待遇面は、北九州市の企業の中でもかなり恵まれています。転職するよりも、今の状況を改善してあげたほうが本人のためになるはずなので、メンタルコーチの先生につないだり、必要であれば部署変更を提案したりしています。

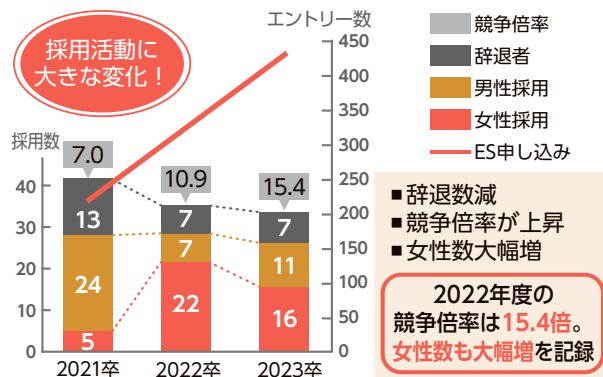
——今後、ウェルビーイングを通じて、どのような改革をお考えですか？

遠藤 YEデジタルはこれからもっとプライムビジネスの加速、新規事業開拓を進めていきます。そのためには、優秀な人材が必要です。東京と同じ給与水準で、東京よりも良い仕事ができる会社にし、優秀な人材が九州から外に出ないようにしないとイケません。弊社の平均年収は現時点で約766万円ですが、今後は1000万円を目指します。良い仕事、多い休暇、高い給料があれば、自ずと求める人材は集まるはずですから。

Company Profile

株式会社YEデジタル

- 所在地：
〒802-0003 福岡県北九州市小倉北区米町2-1-21
TEL.093-522-1010
<https://www.ye-digital.com>
- 創立：1978年（昭和53年）2月1日
- 資本金：7億500万円（2023年3月現在）
- 従業員数：連結640名、単独507名（2023年3月現在）
- 事業内容：IoTソリューション、ビジネスソリューション、サービスビジネス



アフターサービスをまとめてお引き受け



ITカスタマサービスセンター Smart Service AQUA（北九州市小倉北区）

当センターの最大の特長は、経験豊富なIT技術者が直接対応を行うこと。エンドユーザーのトラブルや困りごとの早期解決が可能です。自社にサポート部門を持たないお客様の製品保守や、IT部門に集中しがちな社内システムの問い合わせに対応。お客様の困りごとをまとめてお引き受けいたします。

BCP対策、貴重なIT人材活用の観点でも、サポート業務はYEデジタルにご相談ください。